

(様式3)

令和5年度 指定管理業務の評価表

1 施設概要

施設名	山田奉行所記念館	所在地	伊勢市御園町上條1602
指定管理者名	山田奉行所記念館友の会	指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日まで
設置目的	山田奉行所に関する資料を収集、保存、展示して、地域文化の振興に寄与する		
業務内容	山田奉行所に関する資料を収集、保存、展示して、地域文化の振興に寄与する 入館者に対する説明、指導及び助言に関すること 地域住民の福祉、文化等の向上に関すること 記念館の利用の許可に関すること 記念館の維持、管理に関すること 以上のほか、記念館の管理に関する事務のうち、市長のみの権限に属する事務を除く業務		
施設概要	敷地面積:2,580㎡、建築面積:356㎡ 施設内容:木造平屋建(母屋、長屋門)鉄骨平屋建(弓道施設) 事務室、展示室、弓道施設		
職員体制	会長1名、運営委員長1名、運営委員3名、監事2名、協力委員7名		
施設所管課名	文化政策課		

2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	比較(C-B)	
事業収支	収入	指定管理料	3,275,000	3,275,000	3,275,000	0
		利用料金	31,630	50,700	83,980	33,280
		減収補填金	0	7,990	0	△ 7,990
		その他	135	309	7,209	6,900
		計(a)	3,306,765	3,333,999	3,366,189	32,190
	支出	人件費	2,053,400	2,152,460	2,115,240	△ 37,220
		管理運営費	989,908	1,010,009	1,541,298	531,289
		その他	0	0	0	0
		計(b)	3,043,308	3,162,469	3,656,538	494,069
	収支差引額(a)-(b)		263,457	171,530	△ 290,349	△ 461,879

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	貸室利用の増加傾向が見られる。
----------------------------------	-----------------

3 評価 (様式4に基づく総合評価)

指定管理者	市
入館者が増加しつつあり、スタッフとしても、うれしい。環境整備については、スタッフ一同、協力的で、実をあげている。みそのまちづくり協議会と協力体制ができ、将来的にも効果が期待できそうである。	・施設の管理運営と維持管理は、適正に行われていた。 ・施設が津波災害の浸水区域内にあるため、緊急時のマニュアル整備等を進めていただきたい。 ・来館者数は回復傾向にある。御園町にある唯一の文化施設であるため、引き続き、来館者増に繋がる取り組みに努めてほしい。 ・今後も様々な取り組みを継続し、市民の文化芸術活動のさらなる活性化に寄与いただきたい。また、効果的、効率的な管理運営に努め、各団体や行政との連携を密に図りながら、より質の高いサービスを提供できるよう期待したい。

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

評価項目		施設名 山田奉行所記念館			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	A	入館者の反応から、また、地域の人々の評価から	A	運営業務の基本方針等を十分に理解している。
	②施設設置目的の達成度	A	入館者の反応から、また、まちづくり協議会との協調評価から	A	設置目的や管理に関する基本的な考え方をもとに、館の管理運営が行われている。
	③利用者数	B	コロナ禍もあり、減少していたが、回復の軌道にある。	A	目標数に達しなかったが、来館者数は回復傾向にある。引き続き、利用者増につながる取り組みに努めてほしい。
	④運営状況	A	施設に運営できたと思っている。	A	供用日数・供用時間ともに、事業計画どおり適正な運営が行われていた。
	⑤職員の配置状況・勤務実績	A	仕事の分担の明確化が進んだ。	A	当番表をつくり、順調に業務を行っていた。
	⑥意思疎通	A	文化政策課との連絡調整は行われたと思っている。	A	月1回以上の情報交換が行われ、十分な連絡調整がなされた。
	⑦各種管理記録等の整備・保管	A	整備保管に努めている。	A	各種帳簿等については、適正に整備・保管されている。
	⑧地域の振興	A	まちづくり協議会との連携を進められた。	A	今後の事業に向けて地元自治会との協力体制をはかった。引き続き、地域住民との交流に努めて欲しい。
	⑨使用許可等	A	地域のお茶会の開催が増加したが、手続きはきちんと行われた。	A	使用許可等の申請の取り扱いは、適正に行われていた。
	⑩利用料金等の徴収状況	A	適正に行われた。	A	帳簿等が作成され、適正に行われた。
	⑪個人情報	A	気を付けた。	A	個人情報に係る書類は、適正に管理されている。
	⑫法令遵守	A	遵守して運営した。	A	法令違反は見受けられなかった。

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

評価項目		施設名 山田奉行所記念館			
		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	A	茶会での、ミニ講座を復活した。	A	コロナ禍のため中止していたお茶会のミニ講座を再開した。また、特別展を開催し、入館者増加の取り組みに努めた。
	②利用者の平等な利用	A	適切に行った。	A	来館者に対し丁寧な展示説明を行うなど、応対サービスについては利用者からの評価も高い。
	③適切な情報提供	A	「広報いせ」を活用するほか、マスコミへの情報提供に努めている。	A	企画展開催時には、「広報いせ」やマスコミ等を活用し、情報提供を行っている。
	④非常時・緊急時の対応	A	市からの連絡指導に従っている。	B	緊急時のマニュアルの整備等を行い、対応について施設内でも共有していただきたい。
	⑤苦情解決体制及び対応	A	特に苦情はなかった。	A	意見・苦情等の適切な処理体制が整っており、管理運営に関する大きな苦情はなかった。
	⑥自主事業	A	夏休みに、子供向けの行事を計画した。	A	企画展や子どもを対象とした夏休み文化歴史イベント等を開催している。引き続き、地域住民が交流できるような利用者増につながる取り組みに努めてほしい。
	⑦事業の評価	B	常に反省に努めている。また、興味を持ってそうな企画に努めている	A	特別展等の開催中に来場者から聞き取り等をし、事業評価を行っている。今後も来館者や施設利用者の意見等を事業運営の参考としてほしい。
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	A	駐車場花壇の環境維持に努めている。	A	敷地内の美観保持、定期的な点検・確認が行われている。
	②備品等の管理	B	備品の整備に努めている。	A	保管資料は、適切に管理されている。また、設備等についても適正に管理されている。
	③修繕業務	A	常に小修繕に努めている。	A	修繕が必要な案件については、適切に報告がなされた。また、軽微な修繕については、従事者により修繕するなど経費節減に努めている。
	④清掃業務	A	日常的に清掃に努めている。	A	日頃から適切に清掃、美観保持に努めている。
	⑤防犯体制	A	イセツに依頼、うまく機能している。	A	鍵の管理は適正に行われており、防犯に関するトラブルは発生しなかった。